知る 遊ぶ 学ぶ 天竜川ひろば

天竜川に関する施設の情報をお届けします。

中川村 小渋ダムインフォメーションセンター　上伊那郡中川村大草　TEL 0265-88-3729（総務課）　→中面イラストマップ内 G

長谷村 美和ダム広報室「みわっこ」　上伊那郡長谷村大字非時345　TEL 0265-96-2111（美和ダム管理支所）　→中面イラストマップ内 H

〈小渋ダムインフォメーションセンター〉

地域情報の発信地となる総合学習施設。

小渋ダムは、天竜川左岸一帯の農耕地をうるおし、治水や発電も行うダム。「小渋ダムインフォメーションセンター」は、この小渋ダムのさまざまな情報を発信しています。大型ディスプレイでダムの情報や河川に関するビデオを見たり、パソコンでミニゲームをしたり、小渋ダムや天竜川に関する話を見て聞くことができます。さらにダムの頂上のカメラ映像も公開。自分で自由に向きを変えられ、リアルタイムでダム近辺の状況を見ることができます。

平成16年7月には、インフォメーションセンターの中に「地元展示コーナー」を開設。地元の文化・産業・教育などに関する作品を展示しています。館内はバリアフリー設計。どなたでも気軽にご利用いただけます。

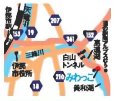
より分かりやすく、詳しく、ダムの情報を発信しています。

〈美和ダム広報室「みわっこ」〉

ダムへの理解を深める地域交流の拠点。

美和ダム広報室「みわっこ」は、平成16年3月30日、美和ダム庁舎新築に併せて設置されました。三峰川沿いの農耕地をうるおし、発電、治水も行う美和ダムの重要性について理解を深めていただくとともに、水源地域活性化を図る交流の場や流域住民のコミュニティ活動の拠点となる施設をめざしています。親子のふれあいの場や総合的な学習の時間への教材として、大いに活用ください。

森や湖に触しみながら、森林やダムの大切さを理解します。



〈小渋ダムインフォメーションセンター・美和ダム広報室「みわっこ」〉
●開館時間／AM8:30～PM5:00　無休
〈天竜川ダム統合管理事務所〉
●Eメール／tendamu@cbr.mlit.go.jp
◆ホームページ http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/

飯田市 天竜川総合学習館「かわらんべ」　飯田市川路 7674 番地　TEL0265-27-6115　→中面イラストマップ内 I

●講座スケジュール

秋の風吹くなかの伊豆の里を、河原でもいろんな魚に出会えます。

10月
- 23日（土）「秋の鳥を探そう！」
- 30日（土）「化石・骨のナゾに迫る」

11月
- 6日（土）「鉱山めぐり2」（高校生以上）
- 10日（水）「秋の星座を観察しよう」
- 13日（土）「リース土台やカゴ作り」
- 20日（土）「秋の森を歩こう」（有料：交通費実費500円未満）
- 25日（水）「天竜峡の観察と押し葉」（高校生以上）
- 27日（土）「竹細工に挑戦！」

12月
- 4日（土）「くずの粉を作る」
- 11日（土）「昆虫の名づけと箱入れ」
- 18日（土）「クリスマスリース作り」
- 25日（土）「おやすりとしめ縄作り」

「クズ」のつたを使って、スプリングクリスマスリースの土台を作ります。

※講座は小学校3年生以上対象。小2以下のお子様が参加される場合は、保護者同伴でお願い致します。
※時間はAM9:00～AM11:00まで。ただし11/6・20はAM9:00～PM4:00、11/10はPM6:00～PM8:00、11/25はAM9:00～PM3:00まで。

「かわらんべ講座」ボランティア募集！

日時／主に毎週土曜日　AM9:00～AM11:00
※1回かぎりの参加でも構いません。

かわらんべでは、毎週土曜日の「かわらんべ講座」をお手伝いしていただけるボランティアさんを募集しています。高校生以上の健康な方であれば、どなたでもOK！特別な技術はいりません。ひとつの講座を「大きな家族」と考え、参加する子供たちの「お兄さん」「お姉さん」役として、一緒に自然体験してみませんか。詳しくは、お電話・メールなどでお問い合わせください。

●開館時間／AM9:00～PM5:00
●休館日／毎週月曜日および祝日の翌日
●Eメール kawaranbe@tenjo.go.jp
◆ホームページ http://www.tenjo.go.jp/kawaranbe/

天竜川の仲間たち

天竜川で活躍する団体からのお知らせ

上伊那農業高等学校 緑地工学科・緑地班

地域環境を学び、調査し、大切な環境を考え、活用する

本学科の2年生は、河川環境をテーマに調査・実験を行っています。これまでの主なテーマは、近年流域で猛威をふるう帰化植物「アレチウリ」の分布や発芽・成長調査、小沢川の水質調査、大泉川の水生昆虫調査、河川の水理実験、伝統的木材水制工の普及など。毎年天竜川流域の各地点で行われる24時間水質調査や、市民団体主催の「アレチウリ駆除大作戦」などにも参加しています。一方、課外授業でも、緑地班が川作りや川との付き合い方について考え、活動しています。最近は「多自然型川作り」と川体験の推進をテーマに、市民団体の方と川のあり方を一緒に考えたり、イベントに参加して子供たちの楽しい川遊びのお手伝いをしました。全国の「いい川づくり」が報告される「川の日ワークショップ」では、伊那市東春近の農業用水路の近自然化に取り組む「中正井の自然を愛する会」の活動を紹介し、準グランプリの栄誉をいただきました。今後も地域の環境を学ぶ中で、高校生としてできることを行い発信していきたいと考えています。

環境に配慮した伝統的木材水制工を模型でPR。

川で遊ぶ楽しさを知ってもらう活動も行っています。

長野県上伊那農業高等学校　宮下理人
http://www.nagano-c.ed.jp/jono/
TEL 0265-72-5281
Eメール jono@nagano-c.ed.jp

国土交通省 天竜川上流河川事務所

●みなさまからの情報、ご要望などをお待ちしています。
天竜川上流河川事務所「天竜川通信」係
〒399-4114　長野県駒ヶ根市上穂南7-10
TEL 0265-81-6415　FAX 0265-81-6421
Eメール tenjyo@cbr.mlit.go.jp

次号は平成17年3月発行予定です

●ホームページでは天竜川の「現在水位」や、いざというときの「放水開始区域図」など防災情報も発信しています
ホームページアドレス
http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/

本紙は、再生紙を使用しています。

Tenryu River Times

美風、きらきら、天竜川。
天竜川上流 河川事務所

天竜川通信

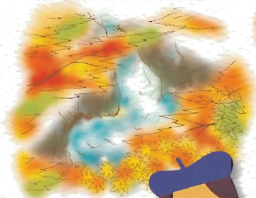
2004 autumn vol.5

「天竜川通信」では、四季折々の自然、遊び、川を舞台にした活動、新しいニュースなど、天竜川の魅力再発見につながる情報をお届けします。
天竜川を"見る""遊ぶ""学ぶ""体験する"ツールとして、ぜひお役立てください。

「渓谷美」

清流と紅葉が織りなす絶景スポット

伊那谷の渓谷は、一年で最も色鮮やかな季節を迎えます。赤や黄に染まった木々と、岩間に流れる白いせんぶとの絶妙のコントラスト。まさに大自然が描く芸術です。



「景観美」

天竜川の風景と調和する、美しい橋のかずかず

懐かしい風情を残す橋、優美なアーチを描く橋…。
天竜川を歩けば、さまざまな橋に出会うことができます。
橋は暮らしに欠かせないだけでなく、ふるさとの景観を美しくおってもいるのです。

「眺望美」

きらめく天竜川、そしてアルプスの山々を望む

空気がすっきり澄みわたる秋は、雄大な風景を楽しむ絶好のチャンス。
ハイキングも兼ねて山頂をめざしてみませんか。
その先には、きっと素晴らしい伊那谷の眺望が待っているはずです。

写真や絵に残したい秋の情景。こころもきっと豊かになります。

天竜川の「美」を訪ねて

長い歳月をかけてつくられた天然の造形美、眼下に広がる素晴らしい眺め、川を彩る美しい景観など…。秋の伊那谷ならではの「美」をご紹介します。

「秋の美味を味わう」

旬の味"そば"の粉を使った洋風メニュー。そば打ちはたいへんですが、これなら手軽で、お子さまと一緒に楽しみながら作れます。

そば粉のクレープ

【材料（約10枚分）】
そば粉 ― 80グラム
小麦粉 ― 20グラム
卵 ― 2個
牛乳 ― 100cc
水 ― 100cc

作り方
1．そば粉と小麦粉を混ぜて、粉ふるいでよくふる。
2．ボールに卵を割り入れ、粉、水、牛乳を入れ、なめらかになるまでよく混ぜる。
3．熱したフライパンにバターをひき、お玉1杯分の生地をうすく広げて弱くて焼く。
4．縁が焼いてきたら裏返し、さっと焼いたら出来上がり。
※栗の甘露煮やりんご、ごぼう茶の味噌を添えて、またハムやチーズ、サラダなどをはさんで食べても美味。

「美しい天竜川をみんなで守ろう」

生活排水の汚れを減らそう

家庭からの排水などで汚される川の水。排水を食べすめるようになるまできれいにするには、多くの水が必要です。汚れのひどい食器は拭いてから洗う、天ぷら油は紙や布にしみ込ませて捨てるなど、汚れた水を川に流さないよう心がけましょう。

【食べ残しをきれいにするために必要な水の量】
しょうゆ小さじ1 ― 450ℓ
牛乳200cc ― 3,120ℓ
天ぷら油500cc ― 99,990ℓ

河原にゴミを捨てない

河原に捨てられたゴミは景観を損ねるだけでなく、増水すると流されて川を汚し、下流地域の環境にも悪い影響を与えます。河原で遊んだあとのゴミは、必ず持ち帰りましょう。

川にすむ生き物で水質を知ろう

水の汚れ具合によって、川にすんでいる生き物が異なります。どんな生き物がいるかを調べることで、川の水質状態を知ることができます。ザリガニやカワゲラがすんでいたら、キレイな川の証しです。